





# 区議会情報

区議会6月会議がはじまります(6/24~7/7)

## コロナ危機から区民の暮らしと営業を守り子どもたちの学びと育ちを保障する支援を

区議会 6月会議 区長提出議案	
条例	内容
職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	保健所職員が新型コロナウイルスの措置に係る業務をした場合に特別手当を支給(4,000円以内/日)
手数料条例の一部を改正する条例	建築物に関する手数料の新設など
ひぐらしふれあい館建築工事請負契約	ひぐらしふれあい館を新設(契約額: 10億9,670万円)
東尾久本町通りふれあい館建築工事請負契約	東尾久本町通りふれあい館を新設(契約額: 7億4,891万3千円)
宮前公園第一期整備工事請負契約	宮前公園の園路及び広場等を整備(契約額: 3億1,350万円)
新尾久図書館建築工事請負契約の一部を変更する契約	新型コロナウイルス感染防止による工事の工程の見直し(工期を2か月延長、1,073万6千円増額)
日暮里活性化施設建築工事請負契約の一部を変更する契約	新型コロナウイルス感染防止による工事の工程の見直し(工期を1か月延長、709万5千円増額)
特別区税条例等の一部を改正する条例	未婚のひとり親、シングルファザーに関する区民税の控除の見直し
区立特養ホーム条例の一部を改正する条例	サンハイム荒川の定員を56 59人に変更
介護保険条例の一部を改正する条例	第1 - 第3段階の第1号保険料を軽減
学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	支援員の認定資格研修に「中核市の長が実施する研修」を追加
学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	南千住六丁目学童を追加、二日小学童の場所を変更
家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	家庭的保育事業等の連携施設の確保に関する基準の改定など
特定教育・保育、特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例	同上
区立図書館条例の一部を改正する条例	尾久図書館の移転により場所を変更
区立公園条例の一部を改正する条例	荒川遊園内の売店の使用料の改定
特別区道における道路構造的技術的基準に関する条例の一部を改正する条例	区道の自転車通行帯に係る基準を規定

6月24日から7月7日にかけて荒川区議会6月会議が開催されます。この議会に出される区長提出議案は現在17本が予定されています。

主なものは、ふれあい館2館の建設工事契約、特養ホームサンハイムの定員増、学童クラブの新設(南千住6丁目)やすでに国で決まっていた消費税増税に伴う介護保険料1〜3段階の軽減、未婚のひとり親への区民税控除の見直しなどが中心です。しかし新型コロナウイルス対策では、保健所職員の特別手当支給が見当たりません。いま、雇い止

めなどによる失業や区内事業者の廃業などの増加が懸念されます。またひとり親家庭を始め子育て世帯の困難も深刻になっています。

今回、区は、補正予算など新型コロナウイルス対策含む財政措置を提案していません。区民の暮らしや営業を守り、子どもの学びを保障するなどをきわめて不十分です。引き続き、コロナ融資の無利子化、事業者の家賃など固定費支援、小中学校学習支援に臨時教員など配置、少人数授業、ひとり親家庭への追加手当支給など区民に寄り添い、暮らし営業を支える財政出動を求めます。

### 都営住宅の募集が始まっています

申込書配布期間 6月23日(火)までです  
配布は、施設管理課、本庁舎1階総合案内、区民事務所各ふれあい館、ムーブ町屋、日暮里サニーホール  
申し込み期日 6月26日(金)までに渋谷郵便局必着  
募集戸数 世帯向け(一般募集) 2347戸  
若年・子育て世帯向け(定期使用) 756戸  
詳しくは申込書をご覧ください。

### 荒川区の保育事情

### 待機児童は28人だが不承諾は243人で横ばい子育てしやすい環境整備の課題山積です...

6月10日の文教・子育て支援委員会に荒川区の今年度保育状況について報告がありました。

今年の待機児童数は、28人で昨年比17減となっています。最高時の177人に比べると減少しています。しかし認可保育園に入れなかった不承諾者は243人でこの3年間ほぼ横ばいです。育休延長のための「不承諾希望」を除いても157人が認可園に入れませんでした。「隠れ待機児童」と呼ばれています。乳幼児の人数は、減少傾向ですが、親の就労は増え、保育利用は増加傾向です。また、現状は、規制緩和で定員以上の

### 今週のデータ コロナ受け入れ病院は軒並み赤字 地域医療崩壊の危機…財政支援が必要

全日本病院協会など病院3団体の合同調査で、全国の病院の約6割、コロナ患者受け入れ病院の約8割が、4月に赤字になっています。またコロナ患者受け入れ病院の医療利益率は、前年比12.2%落ち込んでいます。3団体は「地域の医療崩壊」に危機感を募らせ、政府に10兆円規模の支援を要請。2次補正でも足らず抜本的増額が必要です。

### 医療利益率(2019年と2020年の差)



保育をしている場合もあり、こうした問題の改善も考慮すると、やはり区の責任で希望者が全員が入れ、子どもたちにとってより良い保育環境整備が引き続き課題です。

認可保育園入園状況・待機児数等の推移(各年4月1日)

	2018年	2019年	2020年
入園申込者数(取り下げ者除く) A	1,525	1,466	1,398
	(▲84)	(▲59)	(▲68)
入園承諾者数 B	1,248	1,206	1,155
	(59)	(▲42)	(▲51)
入園不承諾者数 C(A-B)	277	260	243
	(▲143)	(▲17)	(▲17)
認可外対応等			
認証保育所 a	35	29	22
家庭福祉員 b	39	23	12
定期利用 c	11	10	5
1園希望 d	25	20	24
地区内(隣接)空枠 e	31	35	48
求職活動停止中 f	9	14	15
不承諾希望 g	42	81	86
書類不備 h	5	3	3
小計 D(a-h計)	197	215	215
	(▲42)	(18)	(0)
待機児童数 E(C-D)	80	45	28
	(▲101)	(▲35)	(▲17)

[単位:人、( )内は前年比]